

## 航海概要報告

1. 航海番号／レグ名／船舶名 : KR03-07／かいいい
2. 研究課題名 : 日本海溝およびアウトースウェルに存在する小規模海丘の調査 (課題提案者 平野 直人)
3. 首席研究員名 (所属機関名) : 小川 勇二郎 (筑波大学)
4. 調査海域 : 三陸沖日本海溝、北海道海膨
5. 期間 : 2003年6月29日(日)～7月10日(木)

### 調査研究航海概要

「かいいい」を用いた研究航海 KR03-07 を、平成 15 年 6 月 29 日 (日) ～15 年 7 月 10 日 (木) に、日本海溝および北西太平洋において、実施した。

6 月 29 日、宮古港を出港し、6 月 30 日と 7 月 1 日に、宮古沖日本海溝北部海側斜面においてドレッジを行い、玄武岩試料多数を採集した。7 月 3 日、北西太平洋の北海道ライズにおいてドレッジを行い、泥岩試料を採集した。それ以外の日程においては、日本海溝北部海側斜面および北海道ライズおよび、北緯 37 度 30 分、東経 150 度付近においてシービームマッピングと 3 成分磁力系、プロトン磁力系などの測定を連続して行い、従来海洋科学技術センターが取得していなかった箇所での諸データを取得した。

この結果、当所の予想通り、宮古沖日本海溝北部海側斜面でのバックスキャターの反射の強い箇所はすべて若い時代の玄武岩であること、北海道ライズでの泥火山状の地形は、泥岩により構成されること、北西太平洋上には、多くの未知の火山が存在すること、エトロフ断裂帯には、極めて興味深いエシェロン状の海底火山群が存在することなどを始めて明らかにした。

以上

(なお、諸データは別添の CD-ROM に収められています)